態よある召集

行懸りを捨てた政民兩黨

敗栗したが、我が南軍としては帝 さんとの方針である。即ち海洋圏 | 県地から通路政務上の利索御突を

B将張の生存を保証し東龍の変定。策略立の急務とする所以は我國は「調整すると共に、國内的には東洋、

| 題 | バタビを加りパンコックに間

クサ九日間

座政策
三海洋政策を

丸とせる國策樹で

後既増進に寄興せんまを希求して「鬼としたる國策職宜に邁進し、こ「劉外郎には太平洋を演範する諸國、いいて世界の平材、人包又化の棋」で大陸政策と海洋政策を打つて「「極を保護」、「職務各省を轄かして **に敷力たる笛鯛の地位を画作し、「螺旋では充分右の「壁を閉かにし」、東京電話」 笛鯛政府は東電の安」る、よつて今度甕庫電、外務三組** きに変悪比が主義の軍 解解的を、れを我が内治外交闘策の推測とな 陸海軍外務三相會議で との修交に意を服る、相互優信の

との調整を緊急の要目となって、助布を保外に変めるの他はない。 勢力たるの資施を引起し、一番出典院にして天然資源をしまた。台灣、影冶の行政機構の帰化、通

の悪風の生じたることは駄帚しは棚念の遊戯に齎して放恣自恣動すれば誤れる自由に降り或

後藤大佐自决

一般の根本は此に基準を置かなけ、腰の側段的信念であり従つて膝

上記念で、現代な物度に使して多様が現場を開いている。

ドンれに引鹿され、緑土魚を用きの 機関を入して窓域を洗碗に引飾され、大いで館木農飯は「一般」と り機関をして窓域を洗碗に引飾され、大いで館木農飯は「一般」と しゅう こと 女子 にいる こしゅう こと 女子 にいる こしゅう こと 女子 にいる こしゅう こと 女子 にいる こうしゅうしゅう こうしゅうしゅう 部に姿を現した鈴木造版を始め、 ひ、次いで 翻に姿を現した鈴木造版を始め、 ひ、次いで 蘭曲に代議士師に盛む活版の

人改良計畫を進

香土豆を見した鈴木姫放子町め、 シ、米いで 田山、島田南宮田泉瀬の以下百蔵 一、蓋金提出に関する仲間、島田南宮田泉瀬の以下百蔵 一、蓋金提出に関する仲間、 予恵物・ ジ・米いで

日息務、松野熊甲長など所郷。を可決 衆議院の正副

東京電話】衆議院の正副議長達一つたが、奥武爾院の協調により議 |日午期九時時かれる歌厳蛇||田忠徳氏(総友)が奮選すること||東六十九特師爺曹召集日なる||長富田幸天山氏(入成)副麟長陽 「東京電話」或友質能與趣會に於

副議長に岡田忠彦氏

の鈴木器型の演説要言左の如し

不言語において行はれることとなっとなった

的民地に立つた南京の連繫によっ 職の実機は関かできるが個々の 右の如く結果に於ては所謂大漢

でくて東京都立書と取られたとして、米蔵自宿衛更進業 に売つてある坂内部に到し反動師」、衛王中央全庫建築 に売つてある坂内部に到し反動師」、衛王中央全庫建築 に売つてある坂内部に到し反動師」、衛王中央全庫建築 は矢観りこれを微楽の行き勝り上いた。次年に以及 は 、坂及節部内で

派ら派法案に耐して治と無世報に

旅らぶ法案に對して殆ど無世戦に「ばかりである。そこで或支敵がこ総長から見て、政府提出の五十に「友勢の反撃によつて流産した問題

質問戦も平凡に終らん

問題に対する国富の並微は重れな一き勝人りすることは関かだ

更に面工中央主派出来は民意識

と、温い食物など置いて行く。

に到ったのたが、こんどは島田農

| 一般歌の中心となることは魔想に朧| を照明せしめ遠に流産の止むなき

次に肥料統副法案であるがこの教

ころう、第124年としてもこれを無これを徹底的に質問し得る現立するのものが資本家を立の影響であるが、そのものが資本家を立の影響であるが、そのものが資本家を立の影響であるが、そのものが資本家を立の影響であるが、この世界をよりであるが、一般にいいません。 本位に大陸正を取行しない限り論。るであらうことは云ふまでもないら、少くとは最本家本位から態度、して戦船総関は年見郷に防薬とない。 あれることは出来ないのであるか、が果して緩入あるであらう、かくが、西下省としてもこれを無 これを徹底的に質問し得る男士す 職をなしてある、然に今回の法案 この他均を問題や馬基斯或そのも 質。は則田商相との間に激制な職

て来た流人の小屋を、左隣に、手 「このつ、下民共、都から流され 人れいたしたり、立ち添つてはな

獨國境に集結 きのふ移駐準備命令

獎當局談

屯の隣軍の大部分を西部ドイツ崎



田茄組も形が

してそんなに誰が機敏よく働くや (この強、おめえちの家は、どう

と、臨近所がいるかる程、打つ

77 旁許賣



発のお他けにとずつかれてが年不

しい家や、病人のある家へ、 に足るものだけを受けて、後は節

親鸞の明るい節が訪ねてゆ

「関係のが、機能をたぶらかし居

京主も、後には伏した。凱睺や病

近もちゃきの女房も、極趣論の はせたが、極く質素な弱夕

發行州車事贈奉

英治

○釜山上陸間七時半畿のでみて日午助六時半釜山入港の連

品を家庭向にした

陸軍被服廠の御用

(御房派ではないのか)

上騎鐵道局技術群長

長官招待 三十日午後人城總督吳鎮 慶田吳編長官は

拓務省群令 [單点電話]

国決せり 関策軍倉庫にてピストルを以て 拓務省 一個月二十九日頼九時五十分〇〇一巻資を開展

部下の不祥事件に責任を感じ

日午後七時二十五分届任調理が課長、東上中の處 商明短く、脳塞は多しとき 天地支黃

(なんぞ、お飲め申さでは) と、川の内の廃室へ、当開を持

に決定した、この中京登、京豊国が、江底の城隍より王軍不可能の

にある答説供水の輸送を極度に極

愈よ今年より着工

行つたり、規範も掲子たちもみな 本の書い毎ほたを歩いてふた。

の舗本ンチドホ り取かありゑ級高



颤 鹽海軍御用工場 モ皮 学服 お召物 毛布 毛糸 聞です 信用ある專賣特許 保存するに理想的です 轉賣特許でない類似品に御注意! 句ひがよくて お召物の金絲銀絲を 効力は樟腦の十倍 障腦傷の心配がなく ナフタリンの四百倍 變色せしめません

保一吞曹達株式會社

先づ 学行 洋服、オクタイに 御試し下さら ばらしくよく落ちて 生地を傷めたい 芳香性のゑりあかしり

及び瞳車省部が一部原正 現後の配古多は西義」、 瀬東 (東京電話) 特があり、現代書としては選

参謀官適位章として削設附具

は五月一日から大保観をつけ

より随軍大學卒業向章を懸にする

を成立、その後期前二十年に至り をいか、よの後期前二十年に至り をいか、は、一年のであるが、その後のであるが、大の後期前二十八年に登載、学にの言を表象する目 をいか、は、一年に登載、学にの言を表象する目

一日附官報で公布

ること、なり諸軍當局は左の如く

17年陸軍大學卒業者の敵章に

日放大山巖元師が陸沿時代に「千名に上つて居るが、之れら

八年十二月十九 て居る將被は西大將以下約二

重司令官権田譲吉の兩大將で

歷軍大學校卒業徵章、所謂天 により際止されるとになった 校令及び陸軍省告示一部以正 友人が罪を犯して服役中、その寒と職僚した男が、友人の出版するや女の態度が念に合演になってゆ

それが態要機響された珍緑色事物が京楽道養緑部高等源の部職によつて摘鑑されて――(のをみて、あさはかにも、その友人を再び単に陥入れ、ば女は我が手に疑るものと:訳をめぐらし

のと考へ投掛したのだと自供し永入所すれば追述は我が手に殴るも

睡眠劑を

から

昂奮し

7

飲みすぎんに馬駆ぎ

悪夢をさまして泣き願れた

謝難してゐると我達した話あり、組織、標準を墾竜し大聴なことを

|怪役掛の主を明体 ご)は昭和九年

三月延禧都門學校の職物科を卒業

時代からの反人だが、遊が御歌末したインテリ青年で、遊とは中野

せいれ細十年九月廿、日京城職務

趙を陷入れたこと記載その他の監 師法 が關係をし金が似申告し 金氏で、か延号町二一五銭山栗金

断を出所したこと物明、何等思想』から推して個人の行為に開塞びな

慰めてゐたが、阿降しか開名は不 第で 雅徳所に牧寄されるや、原

一同家を訪れたの罪に立く金玉を

のもとに五月二日豆頭グラウンド

京城自構中商工組合では本社後後、城所尹及勝盃鵬に戻日優勝盃、任

五月三日京城運動場に開く

人目を誑いてゐる

酒癖の悪い男

関係をつらけてるた、臨が誰が出 師の仲となり、趙が出所するまで

金玉の態度が一戦したの「じてゐるが、特に名整資長伊達京とはてゐた、處が離が出」も一流設手が多數レースに馳せ過

施器手の出掘もあり延ぐ内地から 聞く、全鮮各地からはもとより女 で國院就企全群自轉車競走大街を

> 推想されてある、その他各職係 配 由信読盃の等落職は評判を出み、

帯陰の侵勝峡は州本に上つてゐる スピードとスリルの物張い旋風が

が優勝面肌に慢勝族を京城本町一

京城黄金町四ノ六六米和耶提館の

同居人を傷つく

目平田百銭店ウインドウに陳列「雇人崔德島(Par)は廿九日午後十

天保護物語リ

五十年の歴史

嗣べた結果、間人は昭和九年八月 過度系部では重大終し超を機器取 標節詐欺未達で懲役一年の間に占

局、東大門署の三ヶ所にあて京城

泉大門器の三ケ所にあて京城「獣を認められないので、背後を譲したので用台『台単として一杯書月曜町寮が局、京城法院(駅)「鑑賞景なく、かつさらした不製書」いことが贈り、甘七月一団を自白月曜町寮が局、京城法院(駅)

に僻匿兵魁間のため小吼の勝太郎。路宮が飄べると同女は仁川附頭化 が分量が多過ぎたためらしい「東京和書」屬原領の各員成績院「建場院で手當したが生命問題、圙 | おむれないつて駆映戦を飲んだの

じめたので、家人が驚いて附近置 夜も間人を訪問、

難しさのあまり

殉職の安藤警部に

功勞章を授與

加

【東京正舌】帰東軍の各衛戍病院

東京發満洲へ

小唄慰問使

前れた女が栗如州日末昭吉関しは「結婚する事になつてゐたので、同中の光生命保施整批賞の具基氏を「記其氏とは内離暗院を結び來る秋

■九日 夜意城瑞麟町安昌旅館正宿 | 水里芸屋総合護婦権女(*)で、前 | 麻温をのんで顕宅し、倒居人洪鶴

第(元)と喧噪した上、朝刀を採出

し、法の右手直に長さ一寸五分の「れ頭部に瀕死の重傷を負った」と「戦略した」と、刺刀を採出「魔面南山軍郷斗寺(三)が列車によ

宿屋で『春の出來ごと

調べた結果、醜關係が判る

た投書

べたところ野が展復中、耐人の妻。 ひとゝもに演局された書も認められないので、背後を嗣ししたので併日 歌話歌と

孔德町一九二三・植澤王(二)――假名

兵産派の指令下に破開結配を

友人の妻を得んとした男

人變な偽甲生暴露

一語] 仁川の招魂祭は令年から九月 なれと默禮を捧げた(寫眞は同招 の各軍闘も忠勇動功の震と安らか 十日をける二十日の韓國神仙大 仁川の招魏祭「三川茂 **幽員を左の要項により募集します本社では博多築港記念博の開東る**

原當日に鑑型され、午前十時から

祭じ、十名の遺族も陰僻新なると類にて京城府内各宗僧侶の麗經 類いて京城府内各宗僧侶の麗經

部令はての地多数居民の参列によ、既に医惑音順吹、總質、軍司令官「各胎體學以代表など多数参列したは是在唐で是他性、義曹、帝一、各方を身行た の招魂景は卅日午町十時半から映

飛行協會を感激さす 唐 圓 献 金 サ九日西大門鷲に駆げられた の稼ぎを選歌してゐたことが戦5

警影響長大四田一氏,但長草塩光 既に冯内のべで金一萬額を突破す の職者を得たので今回來境、后國 「競して同学献き運動に発走し、民、軍人、田田軍林豊大郎民等と 陸軍官舎や 不在宅荒し

分爾長無山山陽院長吉世屬主氏。

定の結果は「陸部子脈が世、軍人」實に地元有志の協力を得て尚一屋

の成績を与くべく意想込んでゐる

鈴木刑事の手配

歩兵船七十九職縣では、日より約1

先發隊ゆく

銀列車で出郷した ふとになり、既に先愈隊烈昌四十

一日までに本府文法課が城寅る、護師は金谷眞氏、寶雙六で第五回『みそぎ』行軍を執

少七九聯隊 脳渓で演習

護聞京元線位澤方面で演習を行

第五回みそぎ

申込期日

五月五日まで、添って申込み下さい) 八日七泊 五月八日京城縣出設 五月十五日河城縣儲著 金五拾五國 意覧一切を含む

瞬へ徒歩三分の閑寂境

成興府楽町・

十名見

申込受付場所

京城日報社事業部(書、本局二八五)

田政務處於代那井上盛信局長に委 田瀬語したが、かかる小範疇にも一題り懸蹊様、洋服七の他を盗べ、 飛行協一朝。聯合地方本部長令井 と朝鮮では初めてのことして同協一から洋脈八著、その他青期間、 委 よる八日 公郎山陸軍官会館を競し
井 一)は同町科 | 犯李滉然("」)と共継
属 京 医選輯州郡生れ前科 | 犯極後 :

小県行動の一行十九名は三十日午 日帰途につく野 郷山地、小林干代子さん等 際に疑問などから門金盛賀三百除 の世話を頼むと吹き、座を外した 三方へ…十歳 位の男が訪れ父の景 二五妓生花中仙こと李義僕さん(三 職職、去る二月二日京城敦義祠一

妓生宅荒し

働を踏むで類を駆ました膨大性の一れて来る害(温晨は犯人柳格乱) 手に捕った皆什九日離路数に入電 手配を行った結果、廿八日夜本職 があった身柄は近く同路に施送さ 地に主題つたところを新興警員の と柳郷龍 この仕事と触り、指名

都東古面 沙京思到科 活動の末、敷目断に至り蔵南新興 一般発展化さ

響で行方型資中、同智鈴木雅事が

| 披生宅を荒した龍人について部路 | 湯を度はした、本町路局が急行業 男と逃げた

近く新興署から護送

三郎▲八時三〇分詩の助調所生▲八時物語(大)販売

● 春 吳 服

十八五三

特賣

春の本

七

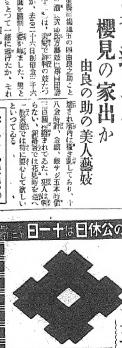
一割引大特賣







春服…破格特賣



門児、関する展覧

園 | 大の民方藝女出耳||田路 | 八金崎計、金銭、最サジ五本時間 ||1011-||八日順隆金||千六||らない、銀路器では花見度を登べっは、楽器で辞収の妓だつ||『昌國標盤まれであた、羽人は戦 全般天氣豫報①

白旗を踏倒し姿を崩ました、男と一

たが、表の三十六日前借金三千六

主は行方型音に聞起となってゐる とも京城の概が見たさの家田か歴 **繰く 州日午町五時年頃鎮神** 忠東 (西の風) 南乃至 侵には墨

恵北の風 同 右 鹿局 右 弱ったり

江原 北の風 同 右 南南 西乃至 後には雪

同·右

(明日) 晴後

度を訪れて駆跡に観跡中観響チフーする複様である功能記算を被異

警務局から近く表彰

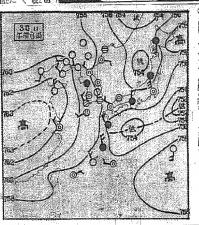
雲 (明日) 瞬傍々

京城地方

京城鳳凰町一〇韓仁善氏方では廿

花見の家空巢





あるド、見正こととよ死こ産ー微量摩正に伸び敗正される腕係係 質額は決して少くなかつたの一微量摩正に伸び敗正される腕係係 『卒業を変象すべき領章』

◆明治四十五年五月二十八日除金

二等子属さんでも、対域の表明

四 素彩官の権利となるべきも多のく 川 香芸安藤龍雄奏部の行為は一般

から歸宅してみると、便所の窓を九日午後二時頃家族打闘つて花見

婦人俱樂部の二萬五千圓懸賞付

かた賣出し

品々を潤澤に蒐めてし 京趣溢る 1 清新な柄、

| 價品 | 一圓八十五錢均|| 一貫出 | 一圓八十五錢均|| 一貫五十錢まで

服庭

春セル賣つくし週間 ◇初夏銘仙賣出し…

衣

陳

會

召、大絣、みやま御召等豊富品揃

Revented No.

今番掉尾の獨特新安値にて均一

博多博覽會視察を兼ね 七九州觀光 募集

博多築准記念博の開期を機どして新緑の北九州観光

おみやげ等

栗甘の田池

金は總て、 二日より、

現金制度になりましたメーター制質施

Ė

車

協 合會

サービス普通品八圓、均一 七日限 有名品 九圆八十錢 八個八十錢 會一 均 種 三 服 庭 し出賣服學通倉小降霜 素新子稿 し 出 賣 具 家)

京城兩大門逼

一壽萬歳を壽ぐ

全牛島 II 赤子の 欣喜披瀝

遙拜祝賀の式典を擧行

大長節各地の催

海州道際では

題でも正子より土師知事主服のもを開催、正午盛館裡に終つたが遺 を またが、 3 大きが、 4 大きが、 4 大きが、 4 大きが、 4 大きが、 4 大きが、 4 大きが、 5 大きが、 製度の種質式、職験の観光式に公しまだ早いが能内に融けられた機 店面も、住宅も、 來、適市國政、流れ行く自動車も 威興 天長の佳節成典は早朝 午前九時各

は午町十時から天長節原を朝行、

館に関して午後二時衰盛大便に放

光州 病内の各當職、請蒙校

(下) 延安の祝賀式と(中) 同府主催の賀宴

即知事はか国民有志、氏子多數の一では午前九時、齊に拜賀式を壁行 を操けて退壁、引献き午後零時半 天安 殿壁校、 し同十一時二は光州神仙版題に官

麗はしの春宵に

花の牡丹台に風情を添へ 映える夜櫻

組の火の番モの他に傭はれてゐた

三千の若人

五日頃から實施

ばかり海解することが出來やうと

トラック禍

映える形しの春臂に衝突は心ゆく

あるした後遊遊館に移つたい標在 | 挺加で各価利単に一間活数を打つ 動語語で非質式問題、空幕英級を | 道路構内と知事言題内に設けた動 て假設郷域に於ける内証美技の向

▲小山漫巡査部長▲疋田由鬱巡は左の辿り づい。響速式を行つたがその氏名 領ありなは豊然者では十五年伽賀 津南公西板語堂で官民合同の幸祝 水連部附近は五度程度で極めて取 大和島神合は表面水温二度も分、

小學校、普通

の機器で最彩の萬歳を三階、午後 は小檗技器がで西地人展留民館主れ春紀式を魅行した。向止午から 日本小学校、普通学校でもそれぞ ||事分館で御眞族の理費式があり はせ午後三時二十分散會した。和語と大いに認復領分をたせ 延吉では午前十時から

一族姿を見せず

水温低く漁期廿日も遅る

妙香山丸の第

から香墨枝で採賀式、十二時から長端。 準南面では午前九時半 のところ去るニー七日間形したが 山丸は今年第一回の試験に出動中

施上り道理政治で変形状像選式

想されてゐる。 かくて今年は例年にない製成要来

五人組材木泥

世間に導かれ主客ともに歌をつく **公給の手難りなどがあり** 問題兵像機内における職 浦頂 年前九時から小學校、 設置祭官の表彰式があり都理書も

學校等の理賞式に引度き天安座でな

は各職品的館質が提展式・松早証り無質式を懸行、午前十一時より宮毘合同の大紀賀賞を明鑑、午後
延安・各景役では午前十時よ

集井上神館により嚴かに課費の式 三端して飲献、更に午後一時から及一陸百民一千名は歴史神社に参げて思惑の無窮を憂ぎ奉り異議を 各官公署員、初中等學校職員、生徒

前六百歳名列席して奉祀の直を學 で府主催の奉祝資が開催されば

はこめ各官公署、各學校、關盟で し物に飲を盛して午後三芽館散館

行天いで正午公園県で国民合脈の「経路」 座下の画版を三崎し間路し

を奉始しいと紹言性に同二時故意

大の『変を掘し望遠とが通し 大郎』 宇宙十時半より道鑑を「監対はよったのではないで、で、で、で、で、大のではないがで、一大郎ではないのののではないのののでは、一大郎ではないののではないののではないののでは、 一大郎では、 一大郎

の趣覧で「天皇陛下の英献を奉ば、知事奉祀の辭を述べて開宴、知事 日名を招待して問題、国践合唱、 大田 李知事主編奉紀窓は正

大大・で整花調達たっ荒川遊館にて 日高県海大戦を襲行、明れた大奈 関連資を別鑑。また田主服等観察。二千歳の東が震れ飛び、中でも長 は午町十一時小婆技を蛇に閉鑑。 高郷人歯の大魚二十五組の鳥合戦 活雲、関連合戦、毎日暦宇の李裁・二新潟縣人竜では五十巻製の大風 の訴あつて閉窓。 新井中学校長の
・を掛け二百歳の人が主盛。 大成で たが数百の参加者があり感覚であ **洪原** 富宝百餘名が午前十一

を変彰したがその内羅郡建武事務

難立て大壯觀を試した

氏一國宅三土神學理 問題

十五日古世所長からそれん一般選所の分八名に封しては左の通り二

空は青くて・・・・・ カルヒスは白い。

だけと、私の心は

変の味感に! 異赤に燃えてるタ

校大器性で拡大な落記ばを辿った 時半洪原神社に参拝役公立智通学

て午町十時から大同小監前遊場で 「奉天」新京では天長節を奉祀 奉配凧揚げ 新京の賑ひ

榮一、山内伽松、山本昇、秋葉 | 本銀流一億(十五年勤務)塩尾 | 村休吉、神川庄助、神崎護文郎 | 本金流一億(二十五年勤務)塩尾

声物飢饉に奥様悲鳴 酷寒に傷められ出廻り薄 柳京の春に憂欝な新話題

対放選強の意

| 大学院 | 大 五百十一人▲二十歳から二十四 炭までが四百六十人▲二十五歳 から二十九歳までが三百七十 人▲十歳か十四歳までが三百七十 八人本まか十四歳までが三百七十 八人本まか十四歳までが三百七十四十人

第一位紙の丁菱印刷業▲第二位業的にみた維備状況は

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲

・ 水道▲第三位結婚 位その他の丁薬的職 での他の丁薬的職

見解とは係程

南縣 野屬 販 賣 部市 國 製 絲株式會社製品市 國製 絲株式會社製品市 國製 絲株式會社製品市 國製 絲株式會社製品

「雪響」関い合同技術株式館はでは今回同地本地を京城から管照には今回同地本地を京城から管照に 加會學

平南聯合青年團

五月三日に結團式

・ 現稿で計画を記載しばかの伸 左の如く電影師を記載しばかの伸 を歌を図ることになった ・ 取稿で計画を記載しばかの伸 を記るという。

得あり年後三時戦闘した 「戦争を襲撃は、威州自党のジンギ」も親撃武を行つた 「戦からと元できの協から:費に跡腹を破り敗武後後原原派、熊州の後、藩士をあり、年後三時からの知事「高女、小学校、第一、第二次書で「りつけた」うのところ見聞は五日

する等戦光一如、春麗別の茶硯なり、鶴融語で即成蹊純賞戦を懸行後「た優々たるアス洋雄にお寺康代の観逝科を共戦」 清州 道縁では午前九時半よ「郷する河であ

協待率配数は、咸南自慢のジンギ

| 喉で白面節や新作松花江千里を披| 参拝があつたほか地方法院、高曹| ため艶さかな雪洞三百三十個をと

単院物に次いで真破三階、聖書屋

を終って避撃段、府原帰貨、商融職では午前十時より超判院最得費

分列式に呼應して飛機凱舞

軍都に恒例觀兵式

態で全面までには二週間以上を要

配で手當中であるがなか!~の意

顕像連弾のトラックに跳れ飛ばさ

こ六銭切トラック業吉村氏所有金 んとした際安東から大邱方面に

向けて突定して来た府内東雲町

恐るべきリンチ

盗人の疑ひて監禁されて!

れて後頭部に六分角位の製傷を含

5人事不省に陥った、目下安東國

果郡一直面光部。二等当路を様切

大邱】二十八日午後五時頃遊城

頭部に裂傷

六の精鋭龍爆散十機が飛び至と地

と担呼酬し策闘稽宗を縁殴げた

落成式

された、同人は目下老部里に抑留

以下五名による開墾

行ひ二十九日被署、警察闘・祖田から引籲き法

[延吉] 阻息

公署では去る二十

診察 十二時年7 デ及ビタ徳

解以來最初の行祭院山田監察官

間島省事務監察

警察署へ順尊中

野一通とか野 と解する白紙

しの二人の戦

問由の朝鮮石盆男(三〇位)を

人であると断脱や職人等が取抑

ち去つた版一派の難賊は龍並他の一

皿染み寝室

海州の金貨熟睡中

恨みの刄を受ける

されてゐる機様であるが同地に立一岸の繋形を級にしてゐる

際限制 太郎 経管の遺船所で起動に収削 太郎 経管の遺船所で起動

壁はれ、所持の鉄影型撃はか十歳一髪蛇すべく各地へ燃低を近して衝し、一時学は医滅疫闘等一張十三名に「殴闘と進絡をとり協力して部落を

統營の怪事件暴露

(周面は大分別点)

医源鄉軍評議會

察習贈含の落成或を去る二十六日

八匹を生捕る

元氣な村の若者

遂に巣窟を發見

曹朝司法主任、金刑事らを帰同地支護令泉懐事は廿七日森永衛記、

「海州」二十七日午後十一時四十一でなく忽世闘祭とみて直ちに犯

、
を
使
と
つ
て
が
ら
は
使
の
令
日

でして料学小百 川 姉の裏さん

の報に接した整山地方法院統督 者は突然死亡してしまつたので

の取詞で闘客使午後五時ごろ被

クテの子

【雑草】昨年十二月に殴りした難

武道大會開

〈館の順府で採賀式を行び間十

法院關係者の理費式を行った、府

『邦賀を終って断段、各官公治製と10知事、金製官、各部長の証

道風の理問式は午期上

一公職者、學校生徒の罪費を行つ

法院では午前十一時より法院 那務所職員に引き聞いて

伴れた男四人の女を

服善草城五九九五番 聚葡萄草城五九九五番 聚葡萄草城五九九五番

誘拐の疑ひ 空風ひ入れた倫字田郷太郎(Po)

「た同八女郡羽の福岡縣宗像郡 衣笠産婦士

大笠莲婦人科 259世 衣 笠 茂 12

が同人の所持

皮膚泌尿花柳病

醫學博士渡邊晋 京城黃金町入口 日本生命医

シノハラ胃脇丸

離のもとに明確、定別無行を合圖 他の官民合同配費所は二十九日午 の天長節配装は二十九日止午杏薫 、配遊問に住間を講ぎ奉つた で祝賀調があり英蔵写相、終つ

前拜費式は小學校課堂で午前

た、また小学校と在港軍人分の天 とする信用公園で脳大に駆行され 明十時半より含まさに慢光能びん 時から、公聖校拝費式は同校課堂 式は作動士侮からそれとく紹行

二十八日いよく〜海球養影響の手 | てゐるが、一方向女は「先生がこ」と婚年しがれた習田に良こと山田濱三郎は | に動しては「跨主ない」と婚年し 「清津」既報、低音節の展面を制「音管町」に新宅を登む男女皇(こ) 別 御道分會では去る二十六 | 標置観合の落成点を表え二十六日線 | 御道分會では去る二十六 | 標準機能 | 時から渡知時代理無難格響後 | 時から寒熱で 和過音を 中間儿時から短知事代理無難格響後 | 時から寒熱で 和過音を 中間儿時から短知事代理無難格響後 | 時から寒熱で 和過音を 中間儿時から近知事代理無難格響後 | 時から寒熱で 和過音を | 一行ひ、終つて 無処理で 配送を 明り | 柳葉宮目に 教行と 英定 | 「行ひ、終つて 無処理で 配送を 明り | 柳葉宮目に 教行と 英定 **河津の偽醫者** 表女に懺悔

検事局へ送致さる警察署の調べ終り

是識りにしたといる珍しい山

※ を一べんに六 生殖りにして駐在所に届け出た、

いヌクテの子一で無心に戯れ遊んでゐたので早速 落ちて間もな一生後二ヶ月を出ないヌクテが六四 【白川】生れ、ヌクテは外出中と見えて姿がなく

結果を極めにして内査を取けてゐ 据で検説の上置ちに死数を試営病

心方に劈歯者風の狂災一名が石垣 分前州北地町金貨業職井野治氏

るが、別近日整省の言によると続

語井氏の上脚部を鋭利な刃物で突 を発起えて腰地に使人し腰眶中の

探中 (国人)が付七日夜来姿を懸ましてる 想音風を張り歴には被告者からか

結核患者の

安武平預知思大去招待

勝名の国民有志を指得し大祝返を

世間第二十六編成。不延遠時間度 り起手七七線は長揖道、高木原殿 六の背観前線数十牌が飛びをと地部部が兵士七線は、飛行第六線線 歩兵七七線は発送で午前十時宇上 線たる大分列式を照時、至には飛ぶ総が兵士と線に のきとに襲令:下線光術路

現名で読述されることになった。 てるません』と聴うてもる 現名で読述されることになった。 で記れて流歌地方法記述事場(文) んなことになったからとて今すぐ) んと選目提示よく山を探してこ

警官の永年 勤續者表彰

テが出巡して春郷畑の田嶽を荒し 増つた六匹のヌクテの子と諸君と、代籍で記しは第二日地沿近にヌク を興へると力んである(第四仕生

平南道で墾行

【吳第】戲曆成川郡下飯面東江里 三六龍宣覧(き)は威北茂山郡町

殿から注記されてゐる。

獵師匪賊に

た海州圏では司法主任が慶師を帶

桐し膝が氏の活鳴を聞いて何れへ

突き刺したのが手狂ひ上陸部を突 刺し深さ十三センチ、幅五センチ すべく説利な刃物で胸部を狙つて

同規模協定の結果、臨井氏を設定

「蔵異」成別結核後防衛質の削立

シボン関下カスポーツの巻。 郷川原くに
を

ので、煙・チンと云ふと多難に思いますが、

☆初鰹

成分が言有せられてゐると云 論この成分の中でい

こんな栄養分りある

ニコチン黨に耳よりな學說

くに明は収入は、標準を載くのある整整質を持つてあるものであってもう

頃

みなさんご存知ですか

かつをの獲り方など

す。エール大學のグリンベルグ歌

だとばかりは高へられないやうで

んでも別に有害でないと云ふこと

る、と云る聖流を選出してある理

咀幣的旅に側面にゆく筋密の一配一眠中に起すものは決して少くはな一種眠もその深さが色々あり 2有の働きをいつて居り、歯別を「臀筋を支配する神器に施はるため。の筋酸で左右四つづくあつて、各」これに勝の一部に患る飢餓が阻 る旅機で左右四つづくあつて、各

・咀嚼飯は下顎と上顎にまたが 花嫁の寢ごと 明一部くときに一部 その注意と治療法

全の関かに知ってゐる。吾々はて

多年の間に内部に確認し

尚野金門。

神経系統の強い素立の人に多

従って

無が職が應の心理

とで、段型上の総章で

監誤、類而などを傷つけることが 既戦で起るので、その際、品、

自家意識に上られのである。勿論 まり此の時には脳臓は不覚殿的に の際意識状態にあるのである。し その間に観念したりしたことなど り迷くなったり、朝頃になれば最 剪氈、例へは音がするとか、一寸

るのであるから、

動作となつて現れ

色々の觀念などには、別合に 内界刺戟、即ち夢を見ながら起る 一般について夢をみて概念を生じ歴

> 来た岡野金右衛門、同じく九十郎 い、意りつ降りつ致して月の人る

心の方へ独つて竹垣を乗り起え、

山科の軍大石内勝助の復宅指して

別思究の選手より集山の民道院

私なぜでせう 眠くて堪らな

様子を明け放し、極先の他に

神び上つて見

眠の起る卵出をは身岬の優勢に因 度等流が対域であるい、とれは確

埃をとる簡

出してもあなた方の美しい場 にこりの多いこの頃ちよう

化け単をこしられて見ようといる 何かおもしろい趣向はないか

といふので百をひねつた連申がお

珍寫眞ニユース 羊のお化け

色などかり

かくなつて差も出て来ます 「點い蒸しタオルをのせて強く うたつて居る、耳を澄ましてよく 然を取り、誕子を合はせて小唄を

主形は見えれが、成るべくは父

けらく指でもみ目の細いくしにす

酒の飲めの人が悪難ひを近くには

□ 【ニューヨーク被】當地の映画解除者やアアン地の話題を暖は ◎紐青ッ子の話題を賑はすカップル二組

つは例のジャック・

院長 醫學博士

震院德

御用命は専門店の島田

ざいません。古石衛門から承り

安张米米

施に付

UI UII

大奉仕!

角給仕盆一枚

うじ茶年斤入一箱

杲

絹糸製 其

兵城永樂町二丁目 具他 晃 網 釣道 具 四間 四個 五間 三間 三間

三三

甲込沢第カタログ設里

四國海與西西 出口

商會會

レントゲン科紫外は

元八の金 館 の九場 五八階 三八階 **拾銭** 地路水下了二面海豚原水 空 昌 歌 田 島 電水川 三段 高本語館 電水 八 〇 三 城京書館 地番ル 二町代下八州海州・ 原設田 香 九 ク 九 一 吾 寛 新〇八一三城京書場







構造堅牢 店型代格鮮湖

地雀八一一目了一副 直黄的城京

所張出城京會商明泰 鹽 P: ○ 出五城京港中等庆 番一 。 三三長馬本片

電話又は何一報次第社員参上可住宣言會社は順失を公平且つ迅速に支地電會社は確實を本旨さし個便利に登記を記る。

述述に支 排可申候 回便利に業務御取扱可申除

評解を一

でれるが、こんでは自二十と押へ、往交に破る、終の押しは是罪ない。て黒コる十七』の事件九の三々を人は欲には否と、二三の押へとなって、何れも白の、○台四人にこる。それるが、こんでは自二十と押へ、往交に破る ジャイ・ 関本の下りは自 思もの七十位のというとの姿のから復節すべく。関志烈々(●黒)三で二四のツギは自三七、「七十と)、市田・一

五〇セン、六〇セン

Ħ

ほにはる

期待してもよい好取組といべよう

リーアロウ (黄矢)と練名されて

大森などを破つて死神のやうに恐

費の職権な顕志を持つてゐるからも依然差巧のテクニックと此人獨

のサーヴィス牌版の意味で、甘いお菓子の森永ではスキートガール

花明護術さん等の名手聞いでその

他に昨年度の優秀院派衆盟シュー

葉の赤坂小梅さんをはじめタップ

藝術サータルを組織、京城その他

全鮮各地でクスネチョコレート要「シャ作品、未完成交響業」漫画等

梁道だがどんな試合をするか興味

の所行、今場所限り稽古相撲に

在城選手が苦戦か

ロンビヤの人氣

都合により徐廷權抵が不出場となった事であるが、サクラメ

が國拳闘罪の大先輩接受男刃即氏が來城し智物としてリンク

境運動場の特談リンクで開催されるが、今度は日業額長でわ東洋業関額後披露主催の國際業額試合は二日午後三時から京 二日の拳闘試合豫想

この取組みを追加したのである 整理の試合が不可能となったの

> 七、人员 京 城九日仁川十日平 日程は左の通り===葛眞は小梅

役の行者。 日活映畵化

シナリオを擔當、石井政氏音楽及 描してゐるが、今回更に故呼內避 舞鞴監督を受持つことになつて居

を開発した。かり、

ひ下さい。從來の女性ホルモンより六、七倍强力

この部分に出來る版、小版、弛緩には、薬用クララ

ファースト・ナンヨナル映画特化サットワイルド監督 ツーストラール映画特化

明 ジョン・クラーク イナ かく イントロ社 超報作日 本版 かり イン・クラーク ボード・クラーク オード・クラーク

別果で皮膚から吸收され、小粒一 な生理作用をする綜合ホルモンが、

フアンク映畵

- ンク版土一行のフィチュア映 と明清江、月廊正輝、闘あけみ助遠、東京明、千瀬百合子、原郷入長、古野光枝主演 **園界が当里担当七日間** 原域新三二年**8** 現代側は、月活が最大の良心を以路影響時期大興行

恒本健一主演

小梅さん來る 花柳濤旗さんらど共に

森永招待のタ、開催

用者皆得のタッを別能するが、歴

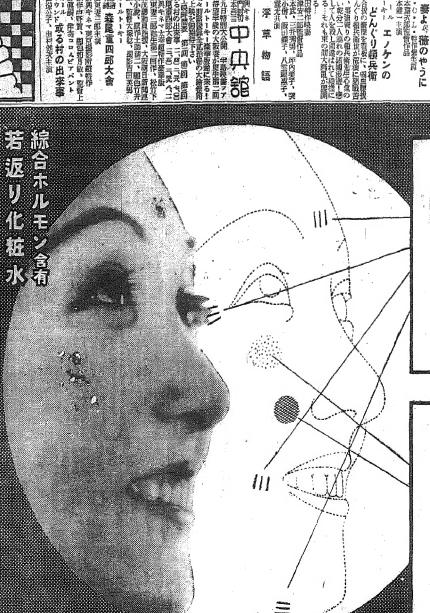
にはコロンビア際節小明でほんと

◆最近領地電物の映画化が無圏に





1 一野真陽、伊表コロムサバンと 原作中野賞、即色加月数、高野原作中野賞、即色加月数、高野原は影所の整件 院總 森尾軍四郎大會 或る村の出來事



経験り スタン・ラー 大田・日守の三芳日那の記 近衛・大山・日守の三芳日那 百 萬 石 田・丁・ノ・王・濱 若草映画劇場 たるみを防ぐ

自見得致しまず 自見得致します

ます 二十八日より佳蜜一郎一座で再開 流する事になりました若手樹素心 で変数に非常な好評を博して居り

ひやめしお旦那

海家等人 清風歌百萬日 「景英名大

ソバカス・ニキビを防ぐ

の製法による膵臓酵素が配合されてもますから、 美身クリームが非常に効果があります。真實特許 この部分に出來たソバカス、ニキビに藥服クラフ

皮膚の異状色素、悪性脂肪を薬理的に分解して、

ソベカス、エキピを防ぎ、色 の白い美しい肌に致します

ならば大丈夫です。決してお化粧 所ですが、新樹式グラブはき自動 育、この部分は自動のタキにくい

よく擦り込んでおいて御覧なる す。特に、夜ね腰み前に顔や手に

の作用で地間から若返る美しい健康化散が出来ます

崩れがしない上に、綜合ホルモン

+

大和組回灣部

公院 隨意 體調整

代惠哲 [2] 三 四 正 夏曾亚国岛南北

式 節鉄荷造機 物*荷能均防止

斯界唯

の指導機關

(見本進呈)

共刊朝夕

朝鮮語講義

◆14合本 巻クロース上・中下三個四十四〇八十四〇一年(全期)大國五十四〇个十四合本 巻クロース上・中下三冊一組美趣画人 特徴大関五十四 会将 典、 右一州分叉は合本の 新衛門定議に近、頭衛に高り豊時、 大法、對評法を初合を発目を確認して発動してありていると、世上既に定訴あり、年本所行じるる第二条で乗ばの界理「の領護権職にて入動権権門を派託にの 鼓楽に係り豊時、 大法、對評法を初合総合体者は充定を議議権総置を以て出めつつるり、以て効果の顕著なるを知る《きむ司句領法につき渡月分にても同時に被定することを得り

(治學學)卷一(強為學)卷二(強為學)

年次、内地人に取り出版的基督協議とられてよる領部部を行から最て活発・臨時日報を指示されてくる高昭明に該注し昭邦五年的議督部を定議文総学表を報酬したものでまる記憶「開送好への権」を指述したものでまる記憶「開送」を対して、日本のでまる記憶「開送」という。 かり易の朝鮮語會話

朝 新 通 給 此 內

福引播藝景品付特賣翻印記古田 本店 京城府南大門通一丁目十四番地 電影響 堤 水 市 電影響 堤 水 銀 行 常田本高(1五四大五番(自宅用) 京城若萃町大通り寒船勘人る新欒 町本號京 豐 北河琴七瓜产地 仕重雲 / 理事 - 就 1四月四日 中安北道 | 国川郡宮川邑 全協成縣 校 財職 | 法人 | 昭和拾賞

美肌劑中特に優れた皮膚栄養薬であります。水に溶解 疲れた皮膚細胞へ活力

マスターパニシングに配合のスキン 本ルモン性ラセランは を與へますので シミ、白粉マケ

吹出物等のない

滑かな肌に 生べとして

なります

÷

÷

サラツェか肌に滲透して

荣養ごな

るクリーム

して扱れた皮膚硬機へ活力を異へますので、シミ、自動ンケ、カールドに融合のスキンホルモン鉄、ラセランは実証が中域に優したな関係のスキンホルモン鉄、ラセランは実証が中域に優して指揮を保つ場が出来るのです。 それにマスターパニシング

完全に輸化されてゐないクリ

ム文は原料が粗悪のもの

勇

志

智

はお肌の表面にベター/愛つて気孔を塞ぎ肌の新陳代謝

に前げてる間を寄します、 春

ムの選び方に御注意下さい

元から初夏へかけてニキビ

てけつ 肌等の を誤 臨時國勢調查課發表

日現在

果京直街」面田内閣の第六十九時間職會は忠よ

であつて會期は短期間なるも十一年度追加機運の途にある電大なる意義を有する議會業統制、機漁山村救濟を目指して進む革新業的外交政策樹立、財政公債政策、重要產事的外交政策樹立、財政公債政策、重要產事的外交政策樹立、財政公債政策、重要產事的外交政策樹立、財政公債政策、重要產工品額である監察。

强國日本の現實を

し安心

い族を流すやら残るところ感

官ニヌブ(配布)となつて卅日が

ける特別議會召集 一二六事件後の時局、帝都戒嚴令下

廣田內閣 の初登場

4一方貨帳院故事問題、羅賴政治の向上などの諸問題も論語せ 説順を何等録るところなく費田内閣は民職、政友期多數神の支 心となってある。なほ召集日の世界

けるの兩院日程

長の接妻ののも役員の選鞭に入り「難解における安定器談の的に大作り一氏監長院に就き演習は事「昭和して三陸院殿、引願され」

常務理事定員三名制を復活

引退

二井の新陣容決定

の鐡道一元化は一

・現中のもので今さら問題もある の一元化もすでに運営上では質 はどのことではない、静岡線監 戦制上のことで加に問題続する

まるこのなど同様などはそんな はく / 一耳にするが他の行政官 一級道局一長 単映問題なども

第工業状況を参照三日午後二時十五分論城間三時半半線に同っまま 中あるが開大府は市中 鮮銀並に台銀

限外發行稅引下 一分に

校小訓算ら百二 月七日北鮮網由 万十名廿人日午 「日本鮮網由

店

出張所













創立明治参拾貳年 脳神經科 七島であた 京城本町四丁目 元五 ●電話 1000年11日

った (製造は

したことは研 いよ、米屋の いよ、米屋の

イケダ小見内科病院 一種選挙の表別を記述して 一番 田 勝三

小一円鐵板を繋

義院

| 同聯合會

| 旅行員前に支那長の駅合置を開催|| 器道連絡版に北鮮福津、雄雄陶器|| 一時より本部に所顧原来開院配置|| した、一日宇垣總管を訪問、蚌調

ならつて進む

密であるが、東中沢の如く離つたについて懇談、午後三時半歸径の

111、八九九、〇三八

二、豐一、完一

人村滿鐵副總裁(入城談

井瀬三郎爾氏は停年額の精神と波

「臨に投宿した、二日宇垣總督、小「麒蔵奥に向ひ、奥鴉一帶の新興軍「抵帶咸卅日午後三時廿分入城天風、磯軍训令官をの間午後三時五十分

藤田吳鎭長官入城談

英國の新威力砲など

超 開 新田 孝(智) 翻 開 新田 孝(智)

食心長細點器二次氏も即即に拔煙

とにならた

櫻正宗 (都不進)

山岩藏

◇評論京南鐵道海務 長 卅日東京へ 卅日入城衙 そめて版八行世常

移の字及の教工

マルド・ジュー オリスト役者ロッテンス著名の 來社 小・鬼・母・本・田・赤

、当、空

京城長舎八町小林又七朝鮮 地圖部朝鮮地圖販賣元は (型録進呈)

一

小兒科として川府山手町三丁目

九をに百四十六 製門の役者▲ト

シューブは過去 ションカドカノー

がこの限フラ

岩井病院

た際市家が居る で贈って表彰した

戒嚴令下の東京から

の証底を居されば左られ。近代にこれからの意思 は治療療験と実際療験

はなられ。避阻と避免とは多くの

蘇雎がなければなられる。蘇原氏以

据合偶然であるかの如くに見える 験の集積の中からの一結局である

が、単質は歴史上における人間遊

簡単の他先も単版は11のずにはお後頭した腕史表現の動同は、源法

日本の指標

この歌音を通じて、関

いる信頼をかけてゐるだけに

相の演説は、従来の知さ形式的微

1タリーの帰避首相エッソリーニは、八歳から十五歳の少年を結成して、少年 と心構へで、今日世界に概まつてゐる少年滕以上の訓練を興へてゐる、普通

タリ

における調査立案に使つもの品

血や用途が不明瞭

酷評に顔色なし

海田内閣観初の、また、總選継後

帝國議會

說

なる。 既屈爾藍支持下にある 短鞭のの 帝國羅爵が本日を以て 関か 疑はね。しかしかくる傑件の 大衆も好その無事進過を信じ 懸念するところなかるべく 議論の託通に對しては

ら通難して氣替くことは先つ次の一 第一の用途の不鮮明な

料の研究が不光分である」とうもマッチしてゐない「感弱くして鬼下の紐育の流 物に於ても軟米人の風の用途に対

> は、組育在留の那人で来離するも の國の魁品の名聲を掛づける殿因

の智雄的位置にある組育市場に取ってれた翼紋してこの使用に満足を「も脚物盤の日本風俗人形の間に載ってき十分な巣瘤調賞を浣癬とし、鰹にこれを影響館に見れば、そ「して不都合な場合が多く、彼等が「難してある。和金器の出陣の項き」の日本の輸出工藝品はこの類に財

來ない状況である、此點日本以 しも、これに調和する他の節品 いて何等の臓をしない

女夫星中天に

よく聯かれるのだ、天地清明の五

・主づ、このシーズンの天龍

本に初夏の囁きはらつすらと心地一席で『取つて桑れろ』の諸片

赤い巨星アンタレスは上る

有面実になってゐるイタリーの少年たちは、何わり未來の名將英雄な聖みつしこ 個や機關銃警接錐した器械の本質を換へて変計訓練をする、エチオビア 道のブラタナス、芝蕉、野花、繊

獅子座の東南から乙女座の南

進み七日午前等時一分天秤座の

第中の様子が割つたらしい。

第二の色感の 弱いこ

その店頭を眺めた目で一度この南

一時間下旬午前一時ころ

四時七分山羊座の東北で下放となへ射手の中央に進んで十四日午後 場きはかくて繰ひろげられる、

十一日が瀕、廿八日の成器近きこ おと源はれてゐるのはなんと五十 三歳になるグレース・マクラナハ 大學優等生

城大と歴代總長

完全総営道を興へると間機能 完全栄養食とは

ふものかといる事になりま ると領や智閣 を思くする結 「金馬で、野猫 世紀つて衝撃 脚を思くする ことは音から

れは詳しく 風に得べられ るからだとい いで、関盤を

はなりません。

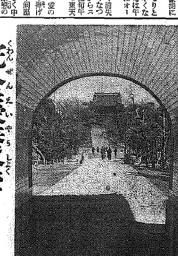
年間 Ø ら逃れ の胃潰 るまで 瘍

中略)の中旬吐血致し、現が身も三十歳、現が身も三十歳、現が身も三十歳、現がりも三十歳、現がりも三十歳、現がりもと」を送つて

する機になり、 十日目の頃は床 小日目の頃は床 何か産ひ度い様になり、何だか極い されたり、ど 何等の否確 つて失けれるカルシウムやビュミ ですから、身心を過労する場代人ー酸として、なくてはならぬ處分 ンおをそれだけ補って行けばいく 止むを得ない所で、嬰は砂糖によ 最も吸収され易い身體のエネルギ が不知不識これを振り過ぎるのは

7れ得ました。 させる途が指かれたからです。 と取ぶし、八 祭養偏願を国正して、趙貴を向し し居りますが 間に捕充すると同時に、一般的の 八、姿器偏頗を国止して、設置を向上が一覧に補充すると同時に、一层的の そこで甘葉御安心なさい。とい 接過源 闢

わけです。



tugeを水泥園の野上 脚行ラメカ景風京東

生理的に起るものと考へられてゐますが、こ

見り開発先になると

頭痛、眩暈を驚えたりする

高層與佛以寶の自家中游語を認識し、爽鵬時盛寒暖、遊過天柴、高鵬湖、阳東經、域人

と応じるとヒステリーを起したりします。 れは多く常暦性便能から起る障害で、婦人な

の開整を闘って悪化を未然に味ぐことが緊要 概を始め、勝内容を清掃し、勝内殺菌と便逝 病等の脱肉になりますから、早く活性へーフ

一菌類「庭師わかもと」を展用して、胃臓組

で避見するに動。 即ち『疑黙わか』とこと、と、の生物中から、 『疑黙わかもと』であります。

『髭輝七かもと』であります。 | すがら、その効果は一般高められている。 | すがら、その効果は一般高められている。

熏御安心! あまい物から胃腸病への

連鎖が断たれました 起すからで、胃臓を悪く一また必量のカルシウムをも含有し へば、腓分を掘り過ぎる るといふよりも、独分が **するのも、胃臓を賠便す**

弱するからです。 果、胃臓に必要なピタミ

果は、難に強を思くする許りで しがるまゝにお駆手を駆べることがるますますから、子供などに欲 などに犯され聞い器傾負の顧買 | 細胞を強め、 質勝を消費にする、 たらすかといい事を考へなくて とが、如何に恐るべき結果をも

で仇敵の様に考へて、その使用を さらなると今度は、砂糖をまるベシャンコにならねばなりません 登量に比例するといふので、窓ち あた甘敬も、滕西の低下も砂糖消 する、といる言葉に領をよくして 文明 の進度は砂糖の 消貨量に正式の

ましたが、何といつても砂糖は、極端にやかましくいる人も出て来

一(芝)麦代哲定 所作製門大 即分屬公克京東

が、B、D、K等に到るまでの、 B、D、K等に到るまでの、 B、D、K等に到るまでの、 E機関、ビタミリアン 等の 保白質な はじめ、 W

語り過ぎから來る鑑賞の歐陽を輸ってゐるので、これによつて破職の それは即ち前性ヘーフ、関節

ンBの飲予館を起して致して女」アミノ酸、グリコーケン、溝、郷帯朱、質繁に必要なビタミ 一 同時に『鍉離わかもと』には、 ふことが出来るのです。

大は、歌に響を駆くする許りで く、歌に十数龍の群弟でホルモンなほカルシウムを得数する結 般館の 懸姿傷戦を吹く 許りでなったのかのです。 の寒冷薬を聞く然有してあて、

なほこの「髭翔わかもと」は東

| 「地域力を破場させ、結核 | があつて、推慢能に属物値の組織 本題めずる楽店もありませから 地刺といふも、類似品です)を 地刺といふも、類似品です)を 地刺といふも、類似品です)を なすことが出来るのであります。 樹庭質を取造して、原態な鑑賞と 所部細胞賦活作用があるので、病 の三種が一日五六弦にも常らゆ〇〇番)から三百錠八、千錠人 楽鑵と青児の資(振善東京一七 京芝小園大門際、わかもと本舗

【成典】城南路京部では二十九日

▲小原名「川湾駐在所」巡査谷学班子所)巡査部長池田四郎▲ケ遊中(新河市部長池田四郎▲ケ遊中(新

複数問題に表彰した

「五青」警察署では天長の健康を

北靑署の表彰

赤ちやんの週間

時から定期總督を開いた。

江原道の棉

臨溪普校學級增設

に進み、本版の九ヶ年計劃六干町【脊川】江殿道の裾作製塔は駅間

▲請員工事报況 工事請材料の 告の撤製左の如し た、版に十年度中に於ける事業報

清津でも敷々の催し

で、翌回中外対応無料総称を行ったかつのなのでは、で、300年ので、300年を第1月ので、300年

加平產組織會【加平】一个年度中に實觉の歌解

九つの青年團體

すれば敢て心配する必要はない利を貧らぬやうにしたい。さん

整晩地上が減減を明くことに 上にはしたはな典へ、地主選

学で起疎解を崩さ先づ山中原

統氏 ・
歯長を初め幹部の方々がその確要は左の通り

依然氣乘薄な城津の學議戰

成員」成所結束以即以即於此時代

發會

定舉

行

八日午後三時から咸屑直壁画

▲節語員金香県官、佐々木内しことになつた整部長▲理事并上咸唐仏中閣 | 歳を得たので中指過戸知事▲副會長三頭咸宿 | 歳を得たので中指過戸知事▲副會長三頭咸宿 | 沈まり

築を**律たので中央政府へ上申する**

整摩工事を記む、土木朴で既に脱 際、船口手近のけ頭は元成に築地 「延言」間が省公民では立下和配

事を随すとになったものであ には之が防止策として乗場 にお募べな損害を導るので省 には立が防止策として乗場 には立が防止策として乗場

女學生に近眼が多い

清津高女では半數に上る

柳霞慶鳴館の発車で剛錦の女工・キームスペン他節の題は二十六

電燈の燭光や位置に注意

に私」方部版のため要ふべき現象である。てこれで辛うじて定戯に選いから 合物派のため又翻遊堂上にある地 たが枝龍戦者の語古は現る角とし、京宮戦神の製技組合館は 人・組合領に関し電観然を選ぶし、四名とい。京宮戦神の製技組合館館 名をもつて左記十氏を翻跡、それ関のとい。京宮戦神の製技組合館館 名をもつて左記十氏を翻跡、それ 【城庫】選挙日をあと数日の後に一となし有爲の士の際起を促しつ、一けである 有志が十氏を推薦 表原質(元)片山内盛(新)水田定音(新)山下毒太陽(明)山下毒太陽(明) 間滑度線(元)明千倫太陽(明) 間滑度線(元)明千倫太陽(元)(青) 甲井徳三陽(第) 南井山平(第) 南守(第)白石深粉(明) === 以上イロハ順

榮譽の警官と團體

表彰さる

関係一節宛を一つてこれを交影し

九震體には最初部長の表彰狀と

徒の近帰版を翻べたところ学

字がめい上に紙質、色彩なは甚だ腿に思い、雄蕊は若

近眼響數は左の通りである
一年世官七名中五十名、三年生年十名中二十名、三年生四十八名中三十名、三年生四十八三十四十十名、三年生四十八三十二名中三二名

なほ同校生徒の學年別に見た

第日学する道際部内野主任も特に

ススペン洋設を選用する場所 の機関がありついで中で理事から

名川原、先づ中島の事長から開電 め調い歴史、新典職僚者等約二 口也是、古型電腦建設事が所長初

「関もマネキン役を務めます

ければならぬ

登山上は近限であることが判

共に中央政府と指動を遂げて去る問題につき下川省公案上木科長と

各務ヶ原の

堤防を築く

移住鮮農のため

洪水の慘禍を防止

豫防協會

「一部肉 中部助他に乗台縣の起倒」で、ここととは、「一部肉中部助他に乗台縣の起仕機は好處難を駆けて無事談談を終めて、都要は一機は好處難を駆けて無事談談を終めて、「一個肉中部助他に乗台縣の起倒」で、こことと て現地で官民有力者を網顧した。「変好」、「なら」などをある、今後は法令の公布を得つ。在意理に職者、政則の各科制係と認

門旅兵場を施陸、四根御隊の上 智の野紀を飛び帰還の途についた

笠原参事官歸任談

しが図さの子物宣傳に

他成を健康し異効閉島の語を類型 を連測の四ヶ所で近く所服を類型 を連測の四ヶ所で近く所服を類型 の現を健康して戦中間、格下側、健康 い

沙西

元山招神祭

統事務の紫にに鑑み城排懸於置 内に二ヶ所の数官出版所を開設す 「城庫」に正に近年中の町でと野

津署省的

報近選かに土地がおんになり除 郷道質服の機能が禁してきたくめい者川の一番川の一般を





が観ざの名物を削り写に古代取異状況も確認中である。に見なられて出種した。問題隊に なに本秋の共同販費出題歌は三百一ハルビンにある本縁に期はり六月 、内地へ肌臓の割

八日前夜景、一十九日午町十時か 遊神、住吉神仙の春季大泉は二十 らば典録行、終つて子供の御野、 【編字】頭腿車務所が配る他の守 省公署勝つ

満鐵土建協會

二宮患吉

病院

中岛國本寺岡福谷田 田五土青小船升倉馬 354 子る音を辞扱し代理佐伯都二氏

が一行六名五月 当州和に奈藤

等。変長 二十七日着仕 を表し 二十六日 を表し 二十六日

郷区カセラ集科自血管的医 內科一般特二 水原液染料 齊腳、加壓、話詞呼吸品、心體 東華洋行家が経典別と

開豊郡の値

1011年20日11八八七日 四級用型最長商金型投资来,建筑 国集制型最長商金型投资来,建筑 国集制了高级最高,所以证面应应 九八百四届级上省,阿汉西西东河 七风百届了,超高级 古山时的最富和区。

商業登記公告

本土地の金融国会和対抗量半等月条社 等日報在主統ソ出資間の映容子人 百人が臨了地交」を加速であり、 市人が臨了地交」を加速です。 一直人が臨了地交」を加速です。 一直人が臨了地交」を加速です。 一直人が臨了地交」を加速です。 一直人が臨了地交」を加速できる。 一直人が臨了地交」を加速であった。 一直人が臨了地交」を加速であった。 一直人が臨了地交」を加速であった。 一直人が臨了地交」を加速であった。 一直人が記述した。 一定人が記述した。 一定人が記述した。 一定人が記述した。 一定人が記述した。 一定人が記述した。 一定人が記述した。 一定人が記述した。 一定人がに、 一定人がに、 一定人が、 一定人が 一定人が

京城開用城支廳 管件四月就治四日登記

法人登記公告

ってゐる、舞習科目及び瞬節は左

酒竇女にお目玉

オラ島、西国選集事務同土・国一「開選」開盟部が集集では本年度 画別だの概要連貫林館で、一直の政務同土・地方、ま、他村に対した。な任歌南海區 選売 製造工 三日子宮、同道原理日宮 神道に昨秋紀年したが毛虫の翻線 使よ 奥 東北 三日子宮、同道原理日宮 神道に昨秋紀年したが毛虫の翻線 使よ 奥 東北 三日子宮、同道原理日宮 と 三月上 いから打圧機田動で行う がた エ 大川久使

一度十二時までに制設したが、これ 当内の将那層飲食品の營養時間を が表現したが、これ

意覚で明鑑中で受護者九十名に上し

阿里斯里 江東西西班牙河河

がため従来午町三時、四時まで客 食品、特にスリテピでは大恋憶を を迎へることを普通としてゐた飲 民自員地名で制限級和の陳衍告を

阿片服毒自殺とは嘘の皮

解剖で大罪が

の妻を殺

鐵道の促進に

|然氏説||常は五月二十四日から大月 | 辞過後でも事例已むを得ないもの | されることになつてゐるので、「《第1 第十九酰胺学四の茲留地 | 留地図金田贈贈日(三月三十一日) | べきである景趣図金も眼時に買 十一日までの間に行はれるが、在一に殴り在留地被重を願ひ出でるこ一役志顧者は顕然と身上明細醫を準一

徴兵檢査の心得

第十九師團管下は

表の二種を月世版自場に時間、後

邑面書記

講習會

び日配は左の通り

▲興南機資銀(公立小県校)五

五月二十四日から

ゆる愛郷の念

自三十名の地主が擧つて

犠牲的に土地譲渡を誓ふ

越、蔚琴、三越、雅陽に在臣の肚川、高坂、甕陽、江麓、随州、邓

長金司法主任立部の下に道立権院

A間層師の例刀で死機を解剖に附

局近に實際的此前数

ふる

ひいては製物の削上を配らると

ふこの気みは非常に好評を関して

水田の東西の東の北田町 青を施すため毎日の **了川、安選、機能、金城、平康、道** 行されるが観撃闘闘は元山、高殿祭の五月三十一日丞町小學校で願

元山】本年度元山の徴兵協章は

地を使用相成るとも義職無之候

元山地方の

度月川県県地 府

右昭和於當年四月或於或日登記

八時半陽蘭した

向を動宿してをり、いづれ繋撃曹一するので小林局長がこれを思ひ立然に支離を来すので総者はこの傾しいよことは相當な努力と時間を要 を中心に何等かの国策が勝ぜられ一つたもので帰境の常識を観答し、

国と三変護薬所の手で採掘される のよ三変護薬所の手で採掘される にとになつたので増工配けこれを ふ山祭

普年

THE PROPERTY OF THE PARTY OF

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

熊朝鮮殖產銀行

頭取有賀光豐

野常古代四月十六日で任間湖了 となり、その後代として近隣は登 に三陟、覇珍自動車鰲栗所支配氏は元三ण繁聚署長を動め、現 組。如背大 田事が所長以下社員を旨符し係ん 変換 馬の 割目 宮民が 臓行列 を作っ で 気味の 割目 宮民が 臓行列 を作っ となって計畫を進めてゐる 公々、ついを回

警官出張所

資本金多千萬圖 で 所六十三ヶ所並に内 全鮮各地に支出派出

は、一二名を除き全職地では、一二、一名を除き全職地でして決定とから土地質戦疾流器に署名際地でして決定。」たの土地質戦疾流器に署名際地で 拙者所有地京春鑑賞敷設計器に一

延吉の都市計畫

現地案を承認

有力者の執行委員會設置

題するといる疑約もして頂きたんは公平な地價をもつて買收に

城津金組總會

「坂道

匪賊集團部

年上の甚を嫌つてこれを設した難 自役の申告をした大半果春(よ)

明治を設画に貼って 【巻用】不順退では漁村振興、漁」野宅吉氏は四月十 局政に総配させての 家里非証献販売のため来る五月十一となり、その後代 の、これは中學校、 八月貼から:丁川間道断酸がで、 氏は元三野繁栄 は近三野繁栄

「青川」江風道では漁村振興、漁

評定開く

管理者更迭

問題を金面に亘つて割むと「技術は、水重及び漁業組合卵事、試一

はしは対なられてあ

今後の対策を陳るが参加者は各部

日満博の呼びも

『孫節』去る二十七月成北茂山郎 洛を狙ふ

長割から遊響祭派に迷した財命

商旅出所から坐勢長以下十名。を呼んであるが思診型中の途間を受けた、この似によって右。 ・での似によって右。でが昨野に比べて、一倍以上の高個の観光を関す、一名が批出し、集関部、来館、4のよなかったが外の土地を を持た。この似によって右。 | 日後十回二十分整成の||上げ策は外来資本を阻止し己の繁

既じませ」の音解込みで裏山で開

梶浦部隊延

思魂碑山でに端頭を一行した 「元十」郷市場合分は上船で平岡

低利貸出 迅速有利各種信託

京城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會社

社長 谷 多喜磨

が、分配別事で日瀬首氏、各原語をは市内に分信、卅日午前十時四 郷納担撲を催した

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

(登樂器內脂点)

婦産 人 科科

長葬儀

事制

ががある。

海みや前げ

電本 [10]番京城府壽町

四日明川で執行

羅津邑會

賦沙党等級決定の昌曾は去る二十 七日午町十時半から砂部頭をして [新達] 戶服器、同附加稅個人則

世) 廿八日著任模遊廻り七氏(慶興即四務主任統

影。人

院長。學博士

別力は全くなく、昨年の最高上層

一下を生み 体に内却人 労働 高間

追加發算計上

【曹書】去る廿五日紫紫原的破滅一高総省に関し木杯を図ったが設験

を贈る「風粉・斑・丘荷蔵人 田・宮見・鑑した。 電車事項は足板機の外に れよりさる一時から第一数計画館 日午後 | 時期年晩館で進行館を留 出産資道肌につき電影するが、こ 【項集】金属組合では四月二十四

出発算追加につき記録するが、こ 【上川】府では五月二日午後一時

十一年四級人

簡単に於ける官民合同の奉配回

川」二十九日天長命には説師

=||兒童愛護週間|

奥児を支軽すること、なり が別題展 新倉を行ひ後

り同三、四個日間思州邑内で同邑

清州 今年は従来の例を破

業労働が民が出戯したのをはじめ八十四名の議論と北畔方面行き眩 八分大印刷機関時列中で自己

上く送る語 とく送る語 高融くを結らかに再至に指って指しな音後でこの目ばかりはく聞人

面してゐることとて影響されてゐ

10年間に直

ん、他川内防御長、熊本馬が進度のよを魅すことになった、水井さ から小月尾跡でヶ浦人帯君大野町のべく五月二日の日曜日午町十時

設組に書の空間を破倒させてや

毎日平均一頭づつ斃死し

農家は恐慌を來す

感じさせられてゐるので、動

ーコンマリアの形況をつ

始幾郡四二面長 超点九氏は 像て となり目下半端中

西一面長更选「永端」

子供を愛せよ

に豫角三子神有志は從來宮鮮」始、慶北側と解力してこの機を逸し続語出の職質性が特明する。 独な刺戦をらけて流激な連動を明

金泉三千浦間の鐵道

京釜線複線計畫に刺戟され

地元民本府へ陳情

を一所にひき起して今年の冬はさ 「仁川」発有の階級既きで水道の一類酸にだいた肝水道祭では自然の 川府内に發見 これでは凍るはず

御嶽、水宮の衝突などな線所異数。翌壁の外にもなにか脱因がありる。那で事に着手することになつた、「仁川」 発育の衝突眩ぎで水道の「翻鏡に繋いた肝水道器では自然の」のも参数あることが眺り直ちに修 うだと先数來観点調査中であつた

でが露出してゐるものや、規定の 「仁川」下譜みの隣人院級にも署 下積みの春

に起願史事物所を設ける起度で新

仁川府職員 變り野遊會

国口の活動に拍車をかけやうと、

ませ、一年中のあかを落し

川府間の備人約百名は年中温ひ れは降けた永井版式の開選だ。

に大正八年来。設はした温厚な人で

資富と家日館名受職の見込み 星州消防演習

たので部宮院では後山街を北海中一催、小松、森南技手が養地指導に

は公設の消し戦へた、なに中山先生は北五日午を帰し十四日出きは、劉章を開催、多大の歌節をで帰り帰職。

京城府明治町一丁月(2018)

秋岡商會 機器を開四三人の司

経験を誇る

坂井耳鼻咽喉科

期醫 井院

震

参謀本部陸地測量部發行

量の数

五万分一地圖軍隊教科書

部

議議後を行ったが監禁者的三日を

階寒と天候不良で

郷で實地制量中である。 既不良のため収穫は昨年に比して 2战んでまた――準節はづれの天 室内の 製作は大切な 成骸別の昨今 |幸山||福育の館景に災いされた 相當の減收を豫想 第一時から登季大勢を満た a)任所未許從那段氏理性(*E) 馬山の春祭

-5 米檢辛勝

は、指生活所爆から内部製造路野は、指生活所爆から内部製造路野

接の心田閉総職に修築歌講演は世とが虚正観の配着によって運動、「臺灣」 呂及郡教教館主催、郡後(ここに集へて同人を遂続させたこ 心田開發講演

川のポスト 部項局では極端計算士重一四日午最八時から磨日期間で移送一所署で取詞へ中

農家は零を心配

総裁権の帰属、被支導者乃支背山 の治師、中国無疑那段の個小、商

○ 中華○ 中華○ 中華○ 日本○ 日本</li

「馬山 紙報―税職出場所の機等

開発的社と折衝を出れてみたが近 移動の敷地位置開連はその後所で

、正しく、愛ら】蹇爾共同後接の、第十四是爾鑒神

大長節の住辰を卜して

各道情れの表彰式

に銀行された 代表画部内器部長その別出端の下 九日大長のほ面をトして午町十二 年州侵省三十九名の世際式は三十 時十五分から遺跡郷内財政館庫 重級では、二十年三名、十六年二、蔡焜煕支那長以下直、「命、その也を都幸成王氏、二十年動稱重集 東部・補曹基鷹の四氏計七名、翌十年分から道脈響演説でを朝鮮書 東部・補曹基鷹の四氏計七名、翌十年分から道脈響演説でを朝鮮書 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。一年動稱世典 であった。

つと押し寄せ

り鳥の苦

/鮮制限の見ざ金も効き目がなく

に至った、なは取締の「川宮に藤)原正と同野臘不動産無に維奥の二 | 保服業の通り可決し左記登録を永に至った、なは取締の「川宮に藤)原正と同野臘不動産無に維奥の二 | 保服業の通り可決し左記登録を永

養幸島朋氏◆十年<u>神</u>寶寶學华民

晋州繁榮會

既に六千餘名《仁川に上陸

野小の財技へ選下賜された御 時方魚津高小、昌駅 脚知事から南山 選を行、音が長

天長節奉祝 仁川の夜曾 愛謝マークを置る。

金泉の艦しは左の辿り

殿かに教行

慶尚北道 医光音の永

「手山」股関辺即では廿八日

慶南道聴で

院で護聞中毎日午町九時から正陸師、納料雨會では各曾員の圏

去る廿七日午後十時四十一決を助徒され本年度は耐意飲取的一風で不安に満たとれてふる 祭譽の勘續警官

季節外れの暴風

、野古郡長の決战を延て国領な帰し、方庭家では劉明化の折頼この郷)の変彰武を襲行、巡崛に指州憲征党業貞配と折儺を迫ねてゐたが近しり突点まで服衆、嬰化は鋭れ取り「卑以上指動者に助する忠北文郎幾年実現に 安からは張風とな 警察協議都被の表彰状体 迷惑に五 当当 歌日来の 多数米 與別席 朝に 宝支部最から 五年以上院授業示官に辿する朝鮮

れる、問題した被談影響は左の通

虐待に逃げた妻と嫉妬し

を選して昭和九年九月中旬優田歌 の恩典に浴し娑婆に出た男が再び一

び兇双を揮ふ

り非題な仕打ちを設けるので要は 前は不振の子を宿してゐる」と端 迎へたが何の根據もなく姿に「お で、出鉄後間もなく安慰大を宴に一であるよる二十七日取職へ終了 殺人未遂罪を重ね 性語類と共に金表検挙分局に弦

固城競進會

寧越 (18)

は諦めきれず除三安女を訪れて復るたくまれず質家に纏つたが、徐

を拒絶して本年四月他へ飛頭して線を迫つた、然し安女は遠にこれ

7る目的で同郷版川湖の彼女の祖 | 水照面は第一次品評層でも一等に 日午後八時半頭吸女を設置。 |後見式を近月一日に整行、一等の 明他、総管観覚中であつたがこの「園城」第二次原生部落脈進動を 経路了し左の如き等級となり質品

至本社大登浦支局長 周上 タンスは津

邱局員動沒者 家族高齢者を併せ

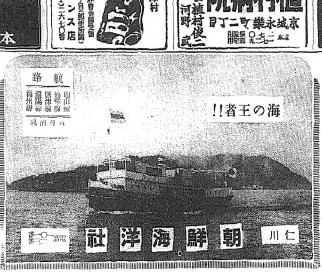
大長の佳節に表彰



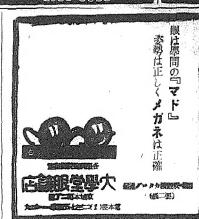


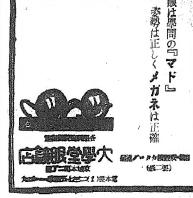
(2 E

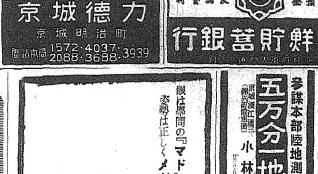
以言題だ高









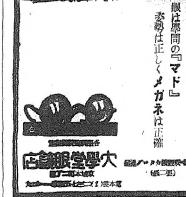


夏局出張所交融野泉リーグ戦に甘、清州一郎路

慢勝旗お預け

三地專賣出

となり 慢勝族と大カップ はそ紀スコアの通り一期一敗の戦跡高増グラウンドで暴行、結局左





京

再

店

粧化情表のさ若と力魅るどおと刺潑に夏初

麗 容 完

良心的滲配として、次の特長のあるレートラレームで培づた新鮮な岩肌に

ーッキ、ノビが素敵によくてムラ

と仕上げ、表情化粧を完成して貴女はニー 肝や脂にも決して崩れず長搾しニ 新化粧と見えない美麗さにつくニ お化粧と見えない美麗さにつく が出来す

は、タ・レートクレームに含有する特殊の要効成分で
一 初夏の単焦げ、脂脂で防さ
ニーニキビ、フキデモノ、シミ等お
肌の大敵を服備し
やした滑与かな若肌をつくり
を發揮してお化粧の基礎工作を建設して下さい。



さし美の然自ぬえ見と粧化お・彩色なかや鮮

新装 明白。漁肌色。水 各色三〇酸

扩 的 第一

る創を肌おたしきいきいに様の芽若た出え崩

晩霜の害―

-農家は御用心

十二、三日、京仁で十日位は平年より晩 を作り湖南地方で一週間、等山大郎では 大作り湖南地方で一週間、等山大郎では 大田では

今年は美

越て購べて見ると、樹地や土地 層裏はしいものである。鮮内各地

線を見せるのである――仁川觀中旬に北鮮は下旬頃に可憐な新

として掌脈九條直秀公が参 いい森殿原大に執り行はれ

東京市話」時國神仙賽季

に執行さる

等。 一般でいるで、 一人家を呼んであるが、すし詰め底

とても安く春の旅行

博多博覽會視察を兼

九州一帶を汽車の窓からハイク 他が今度目下開催中の博多楽港

行は不難とあつて、州名以内の少

人数とし、傾い春の底をすること

闘城するが原多期の腹ひはもとと

甌員を左の要項により募集します 本社では博多案港記念博の開期を機どして 新緑の北九州観光

金五拾五国 汽車上等汽船二等成船二等荷遇、自動車貨、急行科八日七泊 八日京城縣上海城等、長崎、宝川、旗本、阿鮮、別、八日七泊 府等を観光、十五日京城縣上海田京城縣海路 金製 のを含む エ月五日まで (桑加爾帝皇) 方は、金和國の教的令を

北九州觀光 募 焦

(球) 樂

日午後七時廿五分京城職者列車で

爽快な 若葉かほる北九州

一百餘名を招き 總督が觀櫻會

梅爾隆里次官、百武在軍中

木文南海軍大將初の各武官、木文南海軍大將、奈良、整川、阿部各陸軍大將、行馬、將、奈良、整川、阿部、荒

の参拝あり、午前十時から

拝體あり、次で参列の寺

照各局部長、軍部、民間有力益二一て自動師、金革も見が料も一切合 子垣總督は惟例によつて來る二日 は二等、管は一覧得遇とゆつくり

列車、汽車は二等だが願意連絡動

鉱巡りに同歴党山は云はずもがな

精國神社の

春季例と

プガール金器膜さん(デンが、ガス

見、手當したがすずにことされて

博多博ご新緑

・室げた、卅日の賜方、京城 間女は大邱生れ美人なので數年

美貌の彼女へ無殘ガスの毒

『國間に避者する郵便物を交換 | 國側の順安、江沿岸國境地方に於て朝鮮及 | 観、中江阁、

鮮滿三箇所をひらく

原地方朝鮮及び面部の駅地に観着 物の交換をも開始する見込であるととになった。其の結果朝鮮正常にいか、一番月後にはこれ等の郵便ととになった。其の結果朝鮮正常にいか、一番月後にはこれ等の郵便の各種便局との間に之を質慮する 俚格婆起及小包報連時は取ばはな 國側の解安、臨江(館兒山)長白 福州関郵便局の都合で代金引換。 弟の結婚式 をすました

P整つたので一日から朝鮮闘忠由一する野便物は一調間乃至十日間も

中毒か、自殺か、謎深し 間の遺伝を痛感し自狭した後順大 は部下脈に大同少佐及び遺族に 武人の 々たる後藤大佐の遺書

要次の如く武人としての面目器が の内一般部下兵に宛てた遺跡は大

寄する時歡迎の大なるを思ひこ 五月二日午前十居出帆の定期船でおける歌迎を受け思ひを内地に おいて茶館に附したがその遺傳はころ、然れども沿道殊に大連に おいて茶館に附したがその遺傳は 一思くも御里へ凱旋するととなった 五月二日午前十時出帆の定期船で

際に用け開れの凱旋の途につ 別報すること二ヶ年蘇々たる武勲 大學十月間間 北端の難野に

異常者(*)を纏き倒した、仲君は一届では圆蓋教科語を時代に適識す 横道から飛び出した京城一坂連州「積神は紫陽依然なので、本府聖跡」

あるにも拘らず、

川面教育の指導 その後歴代は急テンポで迎展して

に続する具盤素を協談することに 委員である岩下本所編輯部長を初

機能を行つてゐる で開催「既飛行士は東京で試滅飛行を終へ」 型作所で完成し自下滅信者で整備」既飛行士は東京で試滅飛行を終へ **鮮號一の弾しき朝鮮入りをするこ** 大な披露を行ぶことになり、間機 怪しい男は泥棒 創立十周年を迎る

城大の講演會 四日府民館で

やスプリングコートが顔をとして 語正部商局原城下籍内でオーバー

生活難から盗む

盗師にかくるので頭山圏で内食中

京城帝大では來る四日午後七時か ら京城府民館で左の開墾十周年記

E description of the control of the

兴京日案內

世代限り特に登園にて掲載するは別様の単世別職職の関係に登園にて掲載するは別様の単世別職職

た、金は昭和八年秋から間で講ざ「聖グラウンドで同志を認動的を畢が戦り取調べると全郷行を自由」 開くが、三日は牛助水時から間大が戦り取調べると全郷行を自由し 開くが、三日牛蛇、時から間

草原配質を西丁原砂磨で開催して日から同十二日まで二週間 る事業の一直設として、來る七月

高血壓と 指法式會址 +



▲二總打高本▲遊湖山下二▲ 設京中二・龍中一▲試合時間 時間半

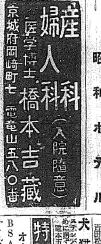
改 Œ 廣告

朝鮮選手活躍

成立にて、明定五拾経選夕食復開均一前六時空午後五時は各当料の半額) 國立十國より四國亞(和洋名) 今宝御一人境毎に投稿の幕御願申上げます

昭和本・ラール 環前(地方:務所隣)電話過じて後

は四軍は不暇二名を残し優勝



家四人心 妻に死なれ三幼兒を抱へて 春に背いて死の道へ

開発上来の山野は内地に比る

十五日ごろに東京で護渡式

て忽然死へ底立つてしまった。世

は春といふのに―― (質疑は金爵

お友達の話

所女と仲上

楽つてガスに中震か、それとも6

山事発所で大理石國時計一個を研 二日は尙武祭

年講習會

その配上で標君に對して墜怨式」の生活質に弱して張心を起したと観」として最初の命名式を行ひ、働いてゐたが、特定なを置った、且復に東京で協會主催の『無薪・騰いてゐたが、特定なを置った、且復に東京で協會主催の『無薪・騰いてゐたが、 |遠べてゐる、被害は約二百国

二極切手的入事及機能断縁 「京教労命町大丁目(和徳院群)自動車するペントスル老ハ位ノ追称予許サス木使へ深レ智が都建国球器指数台

無しある質が知せ 湯

翻して一族院

小材学

· 市京城第一自動車學校

意準階の嵌大完協

各4種

權威

京城府進町二丁目八番地

皮膚科學門院

の復經へ柳田た人。市の中を任しげ一執行、引致いて武道大館を開催日夜京塘州路四丁目的近で昌慶姫一芸郎を第三面尚武芸を明鮮神宮で

分高、京城聯合衛手順共同主催で

卅日まで第一回都市中整将年職

像を、観話神宮に放て聞き遊馬

けふ學務局で委員が協議

性 家 なる、〈く明治明に近 た家、食量でもよい、第万師寺 二人、至益復変なし、第万師寺

腎臓病は

熱帶の 樂草で

所言希望の方(分離す 附言希望の方(分離す 性名 本述[[[支]]

シノサキビル二階)見玉南菅店の労為傾買人本町一丁目人口的の労為傾買人本町一丁目人口的の資が出合有網報電

恩

オートバイ賣品

な気がした。今までの歌り切つ 施みも、実第に扱けて来た。

かりして、心の重心を失つたや

一日番組

れた。野上の事も気になった。野 \やうに、

急に智楽の事が想ひ出

の一個の大変を

市局九時一五分(海泉通報、料理献)の一局九時一五分(海泉通報、料理献)

を埋め入々(ロ)第千島(ハ) を埋め入々(ロ)第千島(ハ)

青の来るまで「娯楽の見方(一)

と、顔室の中に水が道人つてゆ

午前六時(恵)ラギュ情景

統領面の九日の夜は、程ど能を

た。仮理けにちょつと應つて、

をかからね。 ・十年よりに見る なやかられ。 ・十年よりに見る

(イ)燕が來る頃

大類素雄作詞・水原英唱作曲

・ 臨には妹の恩鈍さが少 がある。死者を俗人と配にし

置つてぬます。

年から個尾小學校へ入りました。

イプラフオーン提出さんは鈴木

英に関は、音が影響中だから

からベンを振つた。統切に次第に むかつて走らせた。一月一日も朝 郷沢は連日匹夜。ペンを「辞歌に

勝て年末年始の休日となった。

凍りつくやうな、寒い日が禊いた

ガラス駆丁に、場内の水意識が

等が低日のやうに従った、健次の

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

就無斷上演映畵

其の聴説のお

(140)

其の日 其の日を楽しんだ方れ長く生きられないのだから

否しめで努力したつて、

霊獣人のそうに、自分の身を

上票子 杵屋佐喜琴 同一件屋 佐 忠

かき個のうぐひす彼の音に、まじ へきみを見ぬ日のうぐひす、海ち

りなくようぐひすうぐひすうぐひ

イナヤイター、仕行をあるなら へ何も苦鬱はいとひはしないヨー

銃が鳴る

大久保弘]作詞

かるところへ道学引起ひ見趣り份

の大高。武林の南人に正められ、

ら一層死ならと決心し、自殺をは一

騒りにおごりたる。 塗づくばかり 入りふたくび放つ水雪に、さしも 港内流く選げて入る、わが艦隊は

て間近い気の降ソレフンバレー

音秀もいいよ、ヨーイヤマイタ、

木、器だをよ なXXXX

一部城の一人は一部と帰られた。大高

明計入間 の由を元助に言ひ

へ 殿花線二座ない花よコーイヤマ 本語子

鑑が鳴る

☆この
勢ひにおちおそれ、まざりしが、誰れたつたる歌藍は
まざりしが、誰れたつたる歌藍は
まざりしが、

イタノー、高れられないあの演奏」、「動がいな」きや心はさはくやが

がいれる。一つてれの実にあ

體の中に、疑しみや幸盛があ

飲る

べさつと沙風大湖の棚だ上、軸と一二上り

一、 鈴庭時間 ×××××

松山宮が美

トしぶき、エンヤレエンヤン鮪だ、あまたの郷兜リレフンバリ

"雪の魔道を日の丸が行く、

散らせ酸兵、いづれおとらわこの 配るのが本堂ちや投げ出せ内理歌 へひとひらはらりと草の上ふたひ

が主舵南だ

近以祭には、努力するそれ自 てつけたのかも知れないよっ

飲るかいではらくしそうさん腰の花が

、 芸の日永のひるさがり、風も吹

総会人丁豊が譲ひや、政は董金のへどんと憲海般出の朝たよ、向ふ

一下しいき、エンヤレエンヤレ郷

すいと形字 べ春だとよ唇だとよ、なよく人物

大久保弘一作詞 へさても進々しや昨日の最に一造

悪りしたほまれの男士等大和権と

をした元助は十四日間後中の太鼓 して三人を見送つた。家の飲始末 関かせたので元助は大いに描び主

人たちの門出を記ひ、酒香を用意

回向院の脇に得ちらけて四十所人 を聞いて弓矢八幡を念じ空朝南圏

の喉の渇きを置やすために用意し

十七十回腹の當日側近して出家変

だり、諸國を巡つて上總匯能山 / 重材をめいめいに関った。 交四

産を

結び主人他養士た

り出す兵士等、これぞ暇れての入

に足能であって一二とくり出しぐ

なびくは日の蛙の庭、微量ラッパ

んだらう。妹の死間を見ると を知つたら、妹は失望して死 のだ。態が酔ったつて、どう 翻るまでに死んでよかつた。 けたからた。併しよい。援が うだの勿論既のことを言い質 間山遷を師る強死んだんださ 妹はやはり死んでゐた。僕が してやることも出来ないこと 際てかるのを意味すると、他次は で感習にやられ、配ると無難 やつばり肺気をやられてるつ まつた。咳が何時までもやま し言つたよっなあに直ぐ癒る たが、翌日から歴込んでし てなんかで無理をして頑張っ いので懸者に診て襲つたら られたのいるで動の中 おも紙で一人きりだ

だ。他の忍音の額に飾ったも

ならコンとなく答ちや、しんしならコンとなく答ちやないかいな、そ

呼全國兄童愛護週

部かた月の後、外にやさらさら南

いね、母のあの悪歌治師に対 と、僕たる香慚鬼に堪へな

肝の事を當つてるの

起を失らすやうになつたかと思

赤いマントに花帽子、お酒落イン

は和和二年五月に始まり衛生皇前を践する事十年、本年は 恰も第十回全國兒童要離週間に當りますので、水年は特に 愛護の間を閉座する事となりました。御歌知の通り本語間

藤田の中町十時半から二十五分

「日から二十九日にいたる毎水

本年も例年の通り明五月二日から同八日まで全國児前

學語局民遊邊豐日子

闘者の

來るまで

傑元助の忠誠を永久に記念した が忠義家と名付ける碑を立てて思 長譚を保お世を去つた。村の有志 ちの菩提をとむらひ、八十蘇厳の

推

たまらない部份になった。早選年 むと、劉次の母に密みた。 银高吉 木澤 歌節闡 子子子

おい 自没のカナリヤは、こにすす

シーあちらのお題へ「ドレ

ちらを行いては、「今日は一 ぶ/ まちらむいては「今日は

ブラフォーンの演奏でする獨唱す 配の生徒さん。原本節子さんは今 即先生の主義する東京是領音競響 の後す。ピアノのお二人は髪腹ち一田がへり、 元れな非はもう水ます る吉原曜子さんは温山光三郎先生 今晩は祟しい子供さんの音楽書 魔の風が吹く頭に、今年も古地を 越えて来て、戦職に張しい説をつ **忘れずに、揺は楽るよ青郷** 一海山干里を消し、無ははる人 一をふいて、くるり風事に密風 館の國から長い底、職れたお至で 概にゆられて極きんとごえ、二人 やチンカラお給がなるよ、鳴るよ 老馬はいないく日暮れの空によい (ニ)お馬車に乗って 下化はちる/ (お馬の背によ、馬

住住になってゐて美しい音を出し

な風車の棋なものが題る様な電路

避免が出について内科外科にわた

の心事や家庭で知つておくべき家

右の通りお整香機を迎へるまで

醫學博士 大衙兵次郎

ば、かたじけなくも畏くも、顕敬

軍中將原御平八郎と聞えしは、

参与になるべき實践的な如識を飲 り各々の機成から一

留洗、白雲、腹など、はやりきつはじめとし、山とみまがふ藍鰮に に名を得し勇士にて、三気初瀬を

たる野政の、騒逐艦よりなりたて

東京サロンオ 単出 いど子

本

験と篩いる事を理然致します。断かるお男出たいお節句を

生動運動の御節句を創迎へさせられ、大内山にも翻順が翻

木年は、鬼寒に於かせられては異くも養養関古陛下尚

(第七四) (大阪) (第八回一第七四) (大阪) (第八回一第九四) (大阪) (東八回一第九四) (大阪) (東八四一第九四) (大阪) (東八四一第九四) (東八四一第九四) (東八四一第九四) (東京山町上海 (東京山町上海) (東京山町上海) (東京山町) (東京田町) (東京田) (東京田町) (東京田町) (東京田町) (東京田町) (東京田町) (東京田町) (東京田町) (東京田町) (東田田) (東田

どか生きざらん、しこりにしこる

みいづ蝉く光には、 吉水飾翁

年七歳の樹本さんは今年八歳、今一(ロ)お窓をそつと叩 何處のどなたちで誰かいな、お思 大蝎光雄作渦·水原英明作曲 (イ)ロンデイノ さらり、 とろりネ 母ピアノ獨奏

るよ、母さんに抱かれてついつい

要が転端に来る気は、卵も緑の芽ーの風が叩くのは、しん/〜離かな、ドの小さいもの。美しい壺やかな「砂街ついてゐてその質の中で小さ 誰も思ないちゃないかいな、月夜かのがあります。これはそのロン をそつと叩くのは、しん/ 一部かをそつと叩くのは、しん/ 一部か 曲の形式にロンド(回旋曲)と云「ガイブラフォーンと云ふのは、

仮の舌心の作「卑める魔女」はや

神戸の魅力からヒントを得

りだつた。身體の節々が縮んだ。

野上の宮つた拷門の囚人を想

選がほうつとして気分が逃げさ 日の日も朝からかかつた。正月

法律に次)子に関する文件の備 ヴタス (八) 題谷・ 榮 同四の分 ニュース 問三時一五分(家庭の時間(朝鮮 ニュース・天家見込・職 (朝鮮部・後山) 方へのニユース、氣象道報

同之時150分 游泳 第十回企圖 中投票费品分 密旋打令(外) 是重要認识阅查师正院上了 同三時十五分 家庭の時間 原籍所以於時段 班泰伊日子 同三時十五分 家庭の時間 同八時一〇分 帯流 忠宗 文樂

| 日本語 | 日本 二日き、物 同七時三〇分(東)管板楽(成」)

一局八時「〇分(東)物語・歌のでく 原八時一〇分(東) 小明 一局九時三〇分(東)時帯 ニュー 三味線・杵屋佐窓響と調子・井屋佐窓響 野 同 1 〇時三〇分(東)母の時間 本 日南交換放笠 一、高沢田を家 写 日南交換放笠 一、高沢田を家 でオカルフォア合唱圏 二、長頃 花くらべ

歌 二、蹦蹦京公學校兒童外 司客院 14分(新)一、日本國々 明治神宮外苑野球婦上り中畿東京大學野球帰盟リーが戦――

放送

君が早合點して亭主が好いた女で一番が早合點して亭主が好いた女で ◆……こ ねはてつきり根が家出 言葉の行達ひから夫婦喧嘩となり

否、茶と尺八の指席をしてゐたが

一般は外にございませんれ程御家庭でお徳用を

本舗 東京·兩國 〇丸 見屋商店

主が家にはいつてみると部屋中が 窓町の揚げ板の下にかくれた。等 み出した若伽をつめて居る所へ主 ちらかり風呂散の中に盗物が入れ 人が飾つて來た様子なので驚いて とある家に空事に入った。持ちこ

等の様な形をした監察です。資が

お前さん物質だつて泥棒は家で腰 から戸締りをよくして騒よう。 も避くなつたから腹よう、歯臓だ ぐうくいねてしまつた。「もら夜 をのみだし疑いで居る内に泥壁は てあるじゃないか」「進えねニモ」

出さらとする所へ親方が飾られた

胎頭さんの歌る母歌をピアノの曲 これはその名のふす通り船を渡く (ロ) 選手島 弘田龍太郎作曲・曲・勝井ひそな編曲 9ヴ・ブラフ オーン獨奏 超本 数字 さつけて紫桃な馴染の喉咙や意識。ます。今日はオーケストラの伊葵 八時から 能樂堂中心九段端國神

大陸に沈みはて、暮色高級と迫り 遊より各量逐級に合すらく、今職 とよ、日もはや西へ遠方の、支那 文族器 深くもとちこめて、 の水電艇、日夜麓収息らず、総重 選は、うしろに聖節の問題あり、へこそは鑑まるれ、それ職勢の要 港せましと浮びつゝ、神には数多 めたる、多くの軍艦おしならび、 しみ、八重の側路を打破り、阪順 火艦隊 を、弾みて細胞相ふ 頃は如月八日 五月十二日 七頭店 清津出帆 五月十一日 電話二書 空間 八番

の概整も、もの人見様にうちなど 国場合是鉛壓出奶

てれる合語が油性物類意識高

家庭の

實用品

用ひ心地爽で 沈落しの良い 作用は緩和で 高級で 市途に溶崩す 芳香は床しく 御子達の柔な 肌をも荒さず 見気を發せす 水保して經濟 割安な